



地域に優しい・環境に優しい・身体に優しい 木質舗装

間伐材や林地残材を活用した未利用木質破碎舗装

技術分野分類 5703：地盤工学, 7201：森林科学, 7202：木質科学

技術キーワード 地盤防災, 地盤環境工学, 気候変動・炭素収, 環境教育・森林教, 木質材料

産業分類 06：総合工事業, 02：林業

内 容	概要	わが国では森林は手入れされないまま放置され、荒廃した状態にあり、森林本来がもつ機能（土砂災害防止、水源涵養、生態系保全、二酸化炭素吸収など）を十分に発揮できていない。それを改善するためには、間伐などの森林整備を行う必要があり、さらには林地残材や間伐により発生した資源を有効利用する方法を確立させることが必要とされている。そこで林地残材や間伐材などの未利用木質破碎材を活用し、非加熱・無溶剤タイプの水性アスファルトを使用した簡便でシンプルな木質舗装を提案する。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来の木質舗装は木材の樹皮を取り除いて(チップ化した紙の材料を使用しており、また、木質施工後数日間は使用できない欠点があった。ここで提案する木質舗装は林地残材や間伐材などの未利用木質破碎材を有効活用すること、無臭であり常温で施工可能、約3時間で固まるなどの優位性がある。
	本技術の有用性	未利用木質破碎舗装はその性能評価やアンケート調査により、柔らかいこと、歩きやすいこと、透水性に優れている、路床温度は夏涼しく冬暖かいこと等の成果が得られており、地球温暖化防止、凍上防止などにも寄与する。しかしながら、耐久性や摩耗性の問題があり舗装場所は歩道に限られる。
関連情報 (図・表・写真等)	ながら川ふれあいの森 (H22.8 施工) 	羽島市運動公園 (H23.7~施工)
適用可能製品	歩道であれば全て可能。特に、病院、福祉施設、公園や遊歩道に適している。	
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	吉村 優治 (よしむら ゆうじ) (独)国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	総務課 企画・研究協力係 058-320-1213 / 058-320-1240 kenkyu@gifu-nct.ac.jp

■知的財産 無し

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2016年11月29日